

アンコンシャス・バイアス、特に「男性は仕事」、「女性は家庭」といったような、個人の能力とは関係なく、性別を理由にして役割を固定的に分ける考え方を、「固定的性別役割分担意識」といいます。

アンケート結果からもわかるように、大口町だけでなく、全国的にみても、まだまだ「男性はこうあるべき」「女性はこうあるべき」という意識が根強く残っていて、男女共同参画（男女が互いに人権を尊重し、「女性」や「男性」というイメージにあてはめてしまうことなく、一人ひとりが持っている個性や能力を十分に発揮できる豊かな社会を目指すこと）がなかなか進まない要因の一つとされています。

「自分に思い込みがあるかもしれない」と意識し、気づこうとするのは、アンコンシャス・バイアスに対処する第一歩。そして、男女共同参画社会をつくる大きな一歩でもあります。これを機会に、あなたのアンコンシャス・バイアスに意識を向けてみてはいかがでしょうかでしょう。

時代が変わると、常識が変わる ～常識って何だろう～

男女共同 参画セミナー

アンコンシャス・バイアスについても
分かりやすく解説します。
ぜひお越しください！

日時 3月7日（土） 開場 午後1時 開演 午後1時30分
会場 健康文化センター1階 多目的室
講師 千田純子さん（おおぐち男女共同参画推進会議委員長）
問合せ先 地域協働課 ☎95-1691

国宝松江城マラソン2025 大口町ランナー力走！

12月7日（日）大口町の姉妹都市である島根県松江市で「国宝松江城マラソン2025」が開催さ



れ、大口町から4名のランナーが参加しました。

松江市総合体育館からスタートし、国宝松江城や宍道湖を眺め、中海を渡り大根島、美保関へと北上します。再び松江市街へ戻る道中の35km地点付近では700m以上続く上り坂を越え、その後も細かなアップダウンを経てスタート地点と同じゴールを目指す風光明媚なコースです。

4名全員が見事42・195kmを完走しました。

タイムは次のとおり

酒井勇治さん 完走（1）
本宮健史さん 完走（4時間44分50秒）
白濱益良さん 完走（5時間25分24秒）
原 尚登さん 完走（3時間49分04秒）